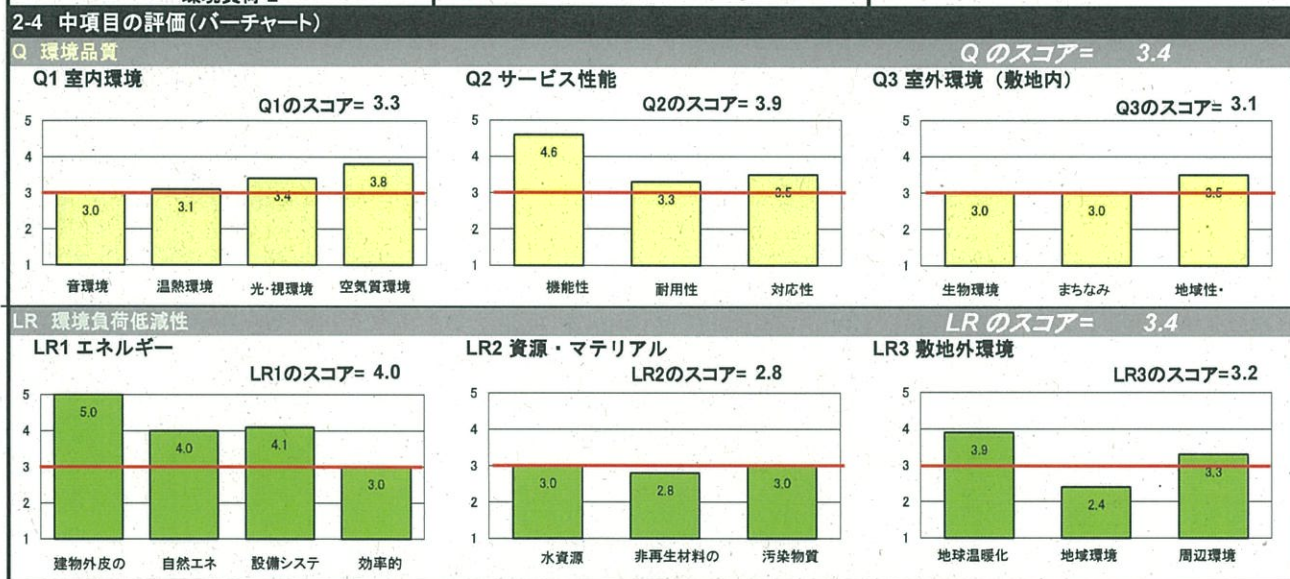


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	中海テレビ放送新社屋	階数	地上4F	
建設地	鳥取県米子市河崎610	構造	S造	
用途地域	法22条地域	平均居住人員	150 人	
地域区分		年間使用時間	4,400 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階		
竣工年	2026年2月 0.0	評価の実施日	2024年3月7日	
敷地面積	7,480 m ²	作成者	崎前 裕介	
建築面積	1,149 m ²	確認者		
延床面積	3,153 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 - 放送機能の継続と新規ビジネス、事業拡大を見据えた柔軟性の確立 - 生産性・クリエイティビティを高める環境づくり - 立地特性を活かし、地域に根ざしたデザイン		その他 0
Q1 室内環境 - 昼光センサによる照明の制御 - 高効率空調の利用 - 自然換風の取り入れ - 自然採光の活用	Q2 サービス性能 - バリアフリー計画 - 階高の確保 - リフレッシュスペースの設置 - 快適な執務環境整備	Q3 室外環境(敷地内) - 適切な場所の緑化計画 - 周辺環境への調和 - 適切なセキュリティ計画
LR1 エネルギー - 省エネ設計 - 多方向に開口設置	LR2 資源・マテリアル リサイクルしやすい設計	LR3 敷地外環境 - 自転車利用促進のため、自転車置場整備 - 駐車スペースの確保 - 周辺地域に光害シミュレーションによる確認

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される